

令和6年度ひろさきMaaS実装サポート業務委託仕様書

1 業務名

令和6年度ひろさき MaaS 実装サポート業務

※本業務は、青森県の事業(令和6年度青森県地域交通AX推進事業に係るMaaS実装促進業務委託)を活用しています。

2 業務期間

契約締結日から令和7年3月14日(金)まで

3 業務目的

地域公共交通は、人口減少やモータリゼーションの進展によって長年利用者が減少し、さらには新型コロナウイルス感染症の影響によるライフスタイルの変化も重なり、減少傾向が加速していく厳しい状況に置かれており、持続可能な地域公共交通を支え、活かす取組が必要不可欠となっている。

当市では、令和6年3月に「弘前市地域公共交通計画」を策定し、鉄道や路線バスなどの公共交通機関相互が連続して機能し、まちなかや郊外の生活拠点及びその周辺の面的な移動を担うとともに、まちなかと拠点間を機能的・効率的に連絡する公共交通ネットワークの再構築を目指しており、目標の一つに「市内の中心部や各方面に、生活の場面に応じて行きやすい、公共交通モード間の連絡・連携機能の向上」を掲げている。

計画策定にあたり行った高校生へのアンケート調査では、通学における送迎利用が非積雪期 20%に対し、積雪期 59%と、冬期間の送迎が交通渋滞の原因にもつながっていると考えられる。また、保護者を対象にしたアンケートでは、送迎をしている保護者が66%で、そのうち送迎を負担に感じたことがあるが71%と、送迎による負担増が地域の経済損失も招いていると考えられ、大きな課題となっている。

このほか、運賃の面においては、距離に応じた運賃設定となっているため、市街地に居住している人に比べて、郊外に居住している人の満足度が低いこともアンケート調査で判明したところである。

本業務では、こうした状況を踏まえ、弘前市内を中心に運行する複数の交通モード間の連携による定額乗り放題サービス(アプリケーションまたはWEBサービスを活用するもの)を実施することによって、公共交通の移動の利便性向上と利用促進を図るとともに、冬期間の交通渋滞の解消と送迎の負担軽減、さらにはCO2排出量削減を目指すものとし、令和9年度からの「ひろさき MaaS」実装化に向け、令和6年度中に利用者と期間を限定した実証事業を行うものとする。

4 業務内容

(1)「令和6年度ひろさき MaaS 実証事業」※に必要な「MaaS プラットフォーム」※の構築と実証期間の運用

※「MaaS プラットフォーム」の機能

- ア スマートフォン及びタブレット(iOS、Android の双方に対応)や PC で利用可能とすること。
- イ 対象公共交通機関を利用できる手段(例:交通系 IC カード、デジタルチケット等)を組成・管理する機能を有すること。
- ウ 令和7年度以降の運用を考慮し、ユーザーがより効率的に利用でき、また公共交通事業者の負担軽減ができるもの、さらには、他の交通モード等を追加できる汎用性の高いものとなるよう工夫すること。

※「令和6年度ひろさき MaaS 実証事業」案

利用者:弘前市内に住所のある学生(高校生以上で1年以内に弘南バス・弘南鉄道の定期券を購入したことがない方)

人数:100人(予定)

対象公共交通機関及び利用区間:弘南バス弘前管内全線、弘南鉄道弘南線・大鰐線、弘前市内乗合タクシー全線

期間:令和7年1月1日から令和7年2月28日

(2)報告書の作成

- ア 実証期間に収集された乗降データ及び乗降データに係る運賃情報を集計・分析の上、書面及び電子データで提供すること(青森県へ提出する業務報告書としての内容を具備しているもの)。
- イ 利用実績データを踏まえ、令和7年度の事業案を提案すること。

5 業務委託料(上限)
510万円(税込み)

6 令和7年度以降の対応

令和6年度の実証事業を踏まえ、構築された「MaaSプラットフォーム」の汎用性が高く、令和9年度からの「ひろさき MaaS」実装化に向けて有用と判断された場合は、令和7年度以降の業務委託にあたり、令和6年度受託事業者を優先して選定することとし、その際は随意契約を行うものとする。